

図 1

- A, B, C 術前造影 CT
- D 未分化小型細胞から成る腫瘍 (HE, × 120)
- E 太い突起が集まる perivascular pseudorosette (HE, × 340)
- F 血管壁に向かう GFAP 陽性の腫瘍細胞の突起 (GFAP, × 160)

astroblastoma (Rubinstein LJ & Herman MM 1989) の可能性を考えた。個々の光顕・電顕所見は anaplastic ependymoma を支持するものでもあるが、その全体像はやはり異なるのではないか、

と思っている。本腫瘍型の存在を確立する上で、今後の類似例の蓄積とその電顕並びに免疫組織化学的観察が重要である。

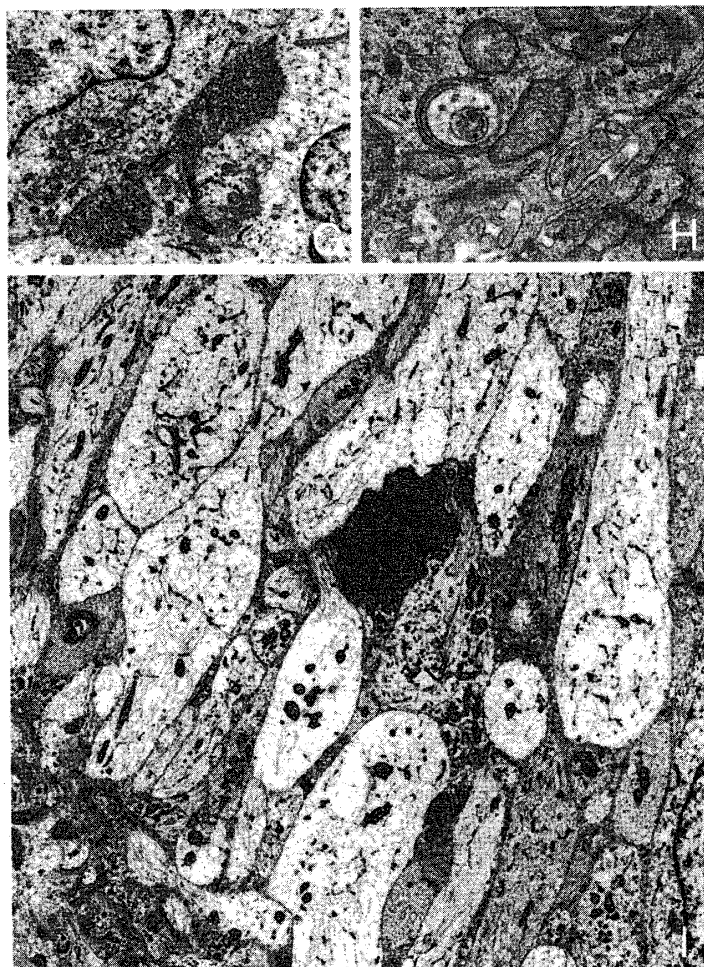


図2

- G 腫瘍細胞間の microvilli の集簇 (電顕,  $\times 3800$ )
- H Cilia を伴う ependymal cell (電顕,  $\times 13000$ )
- I 左下の血管壁に向かう明るい腫瘍細胞の突起 (電顕,  $\times 4300$ )